

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肝硬変を伴った肝切除症例における前凝固の有用性

1. 研究の対象および研究対象期間

1994年1月～2018年12月に当院で肝切除の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

肝臓の手術に際し、手術機器の特性を理解し、適切な機器の選択を行うことは、安全性と確実性を担保した手術を行う上で必要不可欠な要素となります。特に、肝硬変症例における肝切除術は、肝臓の繊維化に加え、門脈圧亢進・血小板減少に伴い、出血が生じやすく、手術の難易度が高く、より細心の注意を要します。

今回我々は、肝硬変をお持ちの方の肝臓の手術の際に、出血を抑える目的で、肝臓を切る部分に手術機器によって凝固を加えることの有用性について、カルテを用いた研究により評価します。

1994年1月から2018年12月において、当院にて施行された肝切除術のうち、術後病理組織学的検査にて肝硬変と診断された方を対象とします。凝固を使用した群と、使用しなかった群の2群に分け、背景因子・手術成績を比較検討します。

研究期間：「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2020年12月まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液・画像所見（XP・CT・MRI・核医学検査）・手術で摘出した組織

情報：年齢、性別、病歴、副作用等の発生状況

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器・一般外科部門） 氏名：草野 智一

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541

研究責任者：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器・一般外科部門） 氏名：草野 智一